

## 令和4年(2022年)の全数把握対象疾患

届出された全数把握対象疾患について、感染症サーベイランスシステム(NESID)より情報を収集・解析した。また、新型コロナウイルス感染症については、「奈良県\_新型コロナウイルス感染症」(奈良県防災統括室 <https://www.pref.nara.jp/55168.htm#01>)より情報を収集・解析した。

令和4年までの全数把握対象疾患(新型コロナウイルス感染症を除く)の届出状況は、表1のようになっている。なお、現時点(令和5年6月時点)での速報値であり、後日変更されることがある。

### 1. 一類感染症

届出はなかった。

### 2. 二類感染症

結核は167例の届出があり、2021年の174例から減少した。男性107例(0歳1例、10～19歳1例、20～29歳6例、30～39歳1例、40～49歳1例、50～59歳6例、60～69歳11例、70～79歳32例、80～89歳31例、90～99歳17例)、女性60例(20～29歳5例、30～39歳1例、40～49歳3例、50～59歳4例、60～69歳5例、70～79歳12例、80～89歳17例、90～99歳12例、100歳1例)で、70歳以上が全体の73%を占めており、過去10年で70歳以上の占める割合は最も高くなった。類型は、患者120例、疑似症患者1例、無症状病原体保有者44例、感染症死亡者の死体2例であった。患者の病型は、肺結核が76例、その他の結核(結核性胸膜炎、結核性髄膜炎、リンパ節結核、粟粒結核等)が39例、肺結核及びその他の結核が7例であった(別添1)。

### 3. 三類感染症

腸管出血性大腸菌感染症は27例の届出があり、2021年の46例から減少した。男性11例(0～9歳3例、10～19歳4例、20～29歳1例、40～49歳1例、50～59歳1例、70～79歳1例)、女性16例(10～19歳1例、20～29歳7例、30～39歳3例、40～49歳2例、50～59歳1例、60～69歳1例、80～89歳1例)であった。感染者の類型は、患者20例、無症状病原体保有者が7例で、溶血性尿毒症症候群(HUS)は0例であった。血清型・検出病原体は、O157が22例(VT1&VT2が19例、VT2が3例)、O103が1例(VT1)、O型判別不能が4例(VT1が3例、VT2が1例)であった。推定感染経路は、経口感染が11例、接触感染が2例、不明が14例であった。経口感染が推定されている事例には、牛肉ユッケや牛レバーの生食といった生肉を喫食した記載のある事例が含まれていた。

### 4. 四類感染症

E型肝炎2例、つつが虫病1例、日本紅斑熱2例、レジオネラ症28例の届出があった。

E型肝炎は、7月及び11月に2例の届出があった。1例は、シカ肉の調理による経口感染(推定)で、肝機能異常を呈していた。もう1例は、肝機能異常を呈しており、感染原因、経路及び地域は不明であった。

つつが虫病は、12月に1例の届出があった。80代男性で、虫による刺し口が確認され、頭痛、発熱、リンパ節腫脹、発疹、肺炎を呈しており、推定感染地域は、県内とされている。

日本紅斑熱は、6月に1例、8月に1例の届出があった。1例は、40代女性で、症状は発熱、発疹、DIC、肝機能異常、腎障害、血球貪食症候群疑いの記載があった。もう1例は、70代男性で、発熱、発疹、DIC、肝機能異常、咽頭痛、血小板減少、腎障害を呈していた。2例とも、マダニ（1例は推定）による刺し口における痂皮から病原体遺伝子が検出された。推定感染地域は、県内とされている。

レジオネラ症は、28例の届出があり、2021年の20例から増加した。男性20例（50～59歳1例、60～69歳7例、70～79歳9例、80～89歳2例、90～99歳1例）、女性8例（10～19歳1例、60～69歳1例、70～79歳3例、90～99歳3例）であった。病型は、肺炎型25例、ポンティアック熱型3例であった。推定感染経路は水系感染が10例、塵埃感染が1例、不明が17例であった（別添2）。

## 5. 五類感染症

アメーバ赤痢15例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症21例、急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）1例、クロイツフェルト・ヤコブ病7例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症21例、後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）8例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症20例、水痘（入院例に限る。）7例、梅毒79例、播種性クリプトコックス症1例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症9例の届出があった。

アメーバ赤痢は15例の届出があり、男性14例（20～29歳1例、30～39歳2例、50～59歳6例、60～69歳3例、70～79歳1例、80～81歳1例）、女性1例（30～39歳1例）であった。病型は、腸管アメーバ症13例、腸管外アメーバ症2例であった。推定感染経路は経口感染1例、性的接触（同性間）1例、性的接触（異性間）2例、性的接触（不明）3例、不明が8例であった。推定感染地域は、奈良県5例、県外2例、不明8例であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症は21例の届出があり、男性14例（40～49歳2例、50～59歳2例、60～69歳4例、70～79歳4例、80～89歳2例）、女性7例（60～69歳1例、70～79歳3例、80～89歳2例、90～99歳1例）であった。年齢は60歳以上が多く、全体の約8割を占めた。病原体検出検体は、血液5例、腹水1例、喀痰5例、尿9例、その他2例であった（重複を含む）。分離された菌種は、*Enterobacter cloacae* 2株、*Klebsiella pneumoniae* 4株、*Escherichia coli* 4株、*Enterobacter cloacae complex* 3株、*Klebsiella aerogenes* 6株、*Morganella morganii* 1株、*Enterobacter aerogenes* 1株であった。推定感染経路は以前からの保菌が5例、中心静脈カテーテル2例、尿路カテーテル2例、人工呼吸器2例、その他医療器具関連3例、その他3例、不明4例であった。

急性脳炎は、8月に1歳女性1例の届出があり、HHV-6感染疑いであった。

クロイツフェルト・ヤコブ病は、7例の届出があり、男性3例（70～79歳2例、80～89歳1例）、女性4例（60～69歳1例、70～79歳1例、80～89歳1例、90～99歳1例）であった。家族性クロイツフェルト・ヤコブ病は1例で、他は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は21例の届出があり、男性8例（50～59歳2例、60～69歳1例、70～79歳2例、80～89歳2例、90～99歳1例）、女性13例（20～29歳1例、30～39歳

1例、50～59歳3例、60～69歳5例、70～79歳1例、80～89歳1例、90～99歳1例)であった。血清群はA群6例、B群2例、C群3例、G群11例(重複を含む)、その他1例であり、推定感染経路は創傷感染12例、その他(性交等)5例、不明4例であった。

後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)は男性8例(20～29歳1例、30～39歳1例、40～49歳3例、50～59歳2例、70～79歳1例)の届出があった。病型は、AIDS3例、無症候性キャリア4例、その他1例(HIV-1)であり、推定感染経路は性行為感染(同性間・異性間性的接触)6例、不明2例であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症は、5月に50代男性1例、10月に80代男性1例、12月に80代女性1例の3例の届出があった。ワクチン接種歴は、接種歴なし1例、接種歴不明2例であった。

侵襲性肺炎球菌感染症は、20例の届出があり、男性9例(20～29歳1例、50～59歳1例、60～69歳3例、70～79歳1例、80～89歳1例、90～99歳2例)、女性11例(0～9歳2例、60～69歳3例、70～79歳2例、80～89歳3例、90～99歳1例)であった。ワクチン接種歴は、接種歴あり2例、接種歴無し9例、接種歴不明9例であり、接種歴あり2例は、9歳以下でいずれも4回接種していた。

水痘(入院例に限る)は7例の届出があり、男性4例(0～9歳1例、20～29歳1例、50～59歳1例、90～99歳1例)、女性3例(0～9歳1例、20～29歳1例、40～49歳1例)であった。病型は検査診断例3例、臨床診断例4例であり、ワクチン接種歴は、接種歴あり2名、接種歴無し3例、接種歴不明2例であり、接種歴あり2例は、9歳以下でいずれも1回接種していた。推定感染経路は、飛沫・飛沫核感染1例、院内感染1例、ワクチン接種1例、不明4例であった。

梅毒は79例の届出があり、2021年の55例より増加した。男性58例(10～19歳2例、20～29歳17例、30～39歳11例、40～49歳17例、50～59歳3例、60～69歳5例、70～79歳2例、80～89歳1例)、女性21例(0歳1例、10～19歳5例、20～29歳6例、30～39歳5例、40～49歳2例、70～79歳2例)であった。患者の病型は、先天梅毒1例(女性)、早期顕症梅毒57例(I期:男性32例、女性4例、II期:男性13例、女性8例)、晩期顕症梅毒5例(男性4例、女性1例)、無症候(無症状病原体保有者)16例(男性9例、女性7例)であり、早期顕症梅毒のうち20代男性1例は、HIV感染症の合併があった。また、無症候のうち女性2例は、妊娠中であった。感染経路は性的接触が51例(性交48例、経口17例、同性間5例、異性間44例、不明6例(重複を含む))、母子感染(胎内・出産時)1例、静注薬物常用1例、不明10例(重複を含む)であり、性的接触(同性間)は全例男性であった。また、性風俗産業の従事歴(直近6か月以内)があった事例は6例あり、性風俗産業の利用歴(直近6か月以内)があった事例は19例あった。推定感染地域は、奈良県が29例、奈良県以外(都道府県不明を含む)が24例、不明は26例であった(別添3)。

播種性クリプトコックス症は、70代男性1例であった。ニューモシスチス肺炎でのステロイド服用による免疫不全との記載があった。

破傷風は70代男性1例及び80代男性1例の届出があった。70代男性では、猫の咬傷による創傷感染であり、筋肉のこわばり、開口障害の症状による臨床診断があり、ワクチン接種歴は不

明であった。80 代男性は、草刈り中にはねた石が右下顎に当たり受傷したことによる創傷感染と推定され、受傷後 10 日目に開口障害及びその増悪と右顔面神経麻痺の症状があった。ワクチン接種歴はなかった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は 9 例の届出があり、男性 5 例(50～59 歳 1 例、60～69 歳 1 例、70～79 歳 1 例、80～89 歳 1 例、90～99 歳 1 例)、女性 4 例(70～79 歳 1 例、80～89 歳 1 例、90～99 歳 2 例)であった。病原体検出検体は、血液 4 例、腹水 1 例、尿 2 例、中心静脈栄養 1 例、便 1 例(重複を含む)であった。菌種は全て *Enterococcus faecium* であった。推定感染経路は、経口感染 1 例、接触感染 2 例、保菌からの内因性感染 1 例、カテーテル関連血流感染 1 例、尿路感染 1 例、針等の鋭利なものの穿刺による感染 2 例(重複を含む)、不明 2 例であった。

## 6. 新型インフルエンザ等

令和 4 年の本県における新型コロナウイルス感染症は 284752 例あり、オミクロン系統の変異株による感染が急拡大した。オミクロン株はデルタ株に比べ、世代時間が約 2 日(デルタ株は約 5 日)に短縮、倍加時間と潜伏期間も短縮し、感染後の再感染リスクや二次感染リスクが高く、感染拡大の速度も非常に速いことが確認されている(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/11995-covid19-ab121st.html>)。本県において、第 6 波では BA. 1 及び BA. 2 系統が拡大、第 7 波及び第 8 波では BA. 5 が拡大し、大きな流行が 3 回あった。最も感染者数の報告が多かった月は、第 7 波でのピークである 8 月で、71430 例であった。

表1 全数把握対象疾患報告状況

	疾患名	調査年		平成23年(2011年)		平成24年(2012年)		平成25年(2013年)		平成26年(2014年)		平成27年(2015年)		平成28年(2016年)	
		全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	痘そう														
	南米出血熱														
	ペスト														
二類	マールブルグ病														
	ラッサ熱														
	急性灰白髄炎	1				1									
	結核	31,483	361	29,317	424	27,052	343	26,629	300	24,523	305	24,669	266		
	ジフテリア														
三類	重症急性呼吸器症候群														
	中東呼吸器症候群														
	鳥インフルエンザ(H5N1)														
	鳥インフルエンザ(H7N9)														
	コレラ	12		3		4		5		7		9			
四類	細菌性赤痢	300		214	5	143	1	158		156	1	121	2		
	腸管出血性大腸菌感染症	3,940	24	3,768	17	4,044	30	4,151	23	3,573	27	3,647	23		
	腸チフス	21		36		65		53	2	37	1	52			
	パラチフス	23		24		50		16		32	1	20			
	E型肝炎	61		121		127		154		212	2	356	2		
五類	ウエストナイル熱														
	A型肝炎	176		157		128		433	8	243	2	272	3		
	エキノкокウス症	20		17		20		28		25		27			
	黄熱														
	オウム病	12		8		6		8		5		6			
六類	オムスク出血熱														
	回帰熱			1		1		1		4		7			
	キャサスル森林病														
	Q熱	1		1		6		1							
	狂犬病														
七類	コクシジオイデス症	2		2		4		2		3		3			
	サル痘														
	ジカウイルス感染症												12		
	重症熱性血小板減少症候群					48		61		60		60			
	腎症候性出血熱														
八類	西部ウマ脳炎														
	ダニ媒介脳炎												1		
	炭疽														
	チクングニア熱	10		10		14	1	16		17		14			
	つつが虫病	462		436	1	344		320	1	422		505			
九類	デング熱	113		221	5	249	2	341	3	293	4	342	5		
	東部ウマ脳炎														
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)														
	ニパウイルス感染症														
	日本紅斑熱	190		171		175		241	1	215		277			
十類	日本脳炎	9		2		9		2		2	1	11			
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病														
	鼻疽														
	ブルセラ症	2				2		10		5		2			
十一類	ペネズエラウマ脳炎														
	ヘンドラウイルス感染症														
	発しんチフス														
	ポツリヌス症	6		3				1		1		5	1		
	マラリア	78		72	1	47	2	60	1	40	2	54			
十二類	野兎病							1		2					
	ライム病	9		12		20	1	17		9		8			
	リッサウイルス感染症														
	リフトバレー熱														
	類鼻疽	3				4				1					
十三類	レジオネラ症	818	9	899	8	1,124	12	1,248	11	1,592	8	1,602	10		
	レプトスピラ症	26		30		29		48		33		76			
	ロッキー山紅斑熱														
	アメーバ赤痢	814	11	932	6	1,047	8	1,134	15	1,109	18	1,151	11		
	ウイルス性肝炎(再掲:合計)	200		186	1	236	2	188	1	206	2	228	1		
十四類	B型肝炎	36		38		30		27		35		35			
	C型肝炎	14		12		20		11		14		17			
	D型肝炎														
	不明														
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	250		236	1	286	2	226	1	255	2	280	1		
十五類	急性弛緩性麻痺							314	5	1,671	28	1,573	22		
	急性脳炎	258		371		369		459	3	511	4	763	4		
	クリプトスポリジウム症	8		6		25		98		15		14			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	138	1	185	3	203	8	177		192	2	175	3		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	197	1	242	1	203	1	268	2	415	2	494	5		
十六類	後天性免疫不全症候群	1,535	12	1,438	11	1,586	8	1,538	14	1,431	14	1,443	3		
	ジアルジア症	65	1	72		82	1	68		81		71	1		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					108		200	2	252	3	312	6		
	侵襲性髄膜炎菌感染症					23		37		34	1	43	1		
	侵襲性肺炎球菌感染症					1,001	9	1,825	20	2,403	21	2,735	23		
十七類	水痘(入院例)							143	5	313	6	318	3		
	先天性風しん症候群	1		4		32		9							
	梅毒	827	6	875	6	1,228	6	1,661	16	2,690	19	4,575	36		
	播種性クリプトкокクス症							37		120		137	1		
	破傷風	118		118		128	2	126	1	120		129	3		
十八類	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	73		91		55		56		66	1	61	5		
	百日咳														
	風しん	378	1	2,386	18	14,344	180	319	5	163	1	126			
	麻疹	439	2	283		229		462	1	35	1	165	3		
十九類	薬剤耐性アシネトバクター感染症									15		38			
	髄膜炎菌性髄膜炎	12		15	1	2		15		38		33			
	新型インフルエンザ等														
	新型コロナウイルス感染症														

表1 全数把握対象疾患報告状況

	疾患名	調査年		平成29年(2017年)		平成30年(2018年)		平成31年・令和元年(2019年)		令和2年(2020年)		令和3年(2021年)		令和4年(2022年)	
		全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	痘そう														
	南米出血熱														
	ペスト														
	マールブルグ病														
二類	ラッサ熱														
	急性灰白髄炎														
	結核	23,427	285	22,448	232	21,672	283	17,786	202	16,299	174	14,784	167		
	ジフテリア														
	重症急性呼吸器症候群														
	中東呼吸器症候群														
	鳥インフルエンザ(H5N1)														
鳥インフルエンザ(H7N9)															
三類	コレラ	7		4		5		1					1		
	細菌性赤痢	141		268	1	140		87		7		16			
	腸管出血性大腸菌感染症	3,904	21	3,854	26	3,744	23	3,094	52	3,243	46	3,376	27		
	腸チフス	37		35		37		21		4		16			
	パラチフス	14		23		21		7				10			
四類	E型肝炎	305	1	446		493	1	454	1	460		434	2		
	ウエストナイル熱														
	A型肝炎	285	1	926	7	425	3	120	1	71		69			
	エキノコックス症	30		19		28		24		35		28			
	黄熱														
	オウム病	13		6		13		7		9		12			
	オムスク出血熱														
	回帰熱	8		6		7		15		10		25			
	キャサスル森林病														
	Q熱			3		2				1					
	狂犬病														
	コクシジオイデス症	4		2		2		6				2			
	サル痘												7		
	ジカウイルス感染症	5				3		1							
	重症熱性血小板減少症候群	90		77		101		78		110		118			
	腎症候性出血熱														
	西部ウマ脳炎														
	ダニ媒介脳炎	2		1											
	炭疽														
	チクングニア熱	5		4		49	1	3				6			
	つつが虫病	447	1	456		404	1	538		544		493	1		
	デング熱	245	4	201	2	461	4	45		8		99			
	東部ウマ脳炎														
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)														
	ニパウイルス感染症														
	日本紅斑熱	337		305		318	1	422	3	490	1	460	2		
	日本脳炎	3				9		5		3		5			
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病					2									
	鼻疽														
	ブルセラ症	2		3		2		2		1		1			
	ベネズエラウマ脳炎														
	ヘンドラウイルス感染症														
	発しんチフス														
	ポツリヌス症	4		2		3		4		5		1			
	マラリア	61		50		57	1	21		30		31			
	野兎病														
	ライム病	19		13		17		27	1	23		14			
	リッサウイルス感染症														
	リフトバレー熱														
	類鼻疽	1		2		2		1				2			
	レジオネラ症	1,733	18	2,142	19	2,316	21	2,059	26	2,133	19	2,144	28		
レプトスピラ症	46		32		32	1	17		34		38				
ロッキー山紅斑熱															
五類	アメーバ赤痢	1,089	9	843	9	853	11	611	6	537	7	536	15		
	ウイルス性肝炎(不明)	241	1	214	1	257	2	186		148		136			
	B型肝炎	31		29		31		25		12		16			
	C型肝炎	22		33		43	1	35		42	1	55			
	D型肝炎			1						1		1			
	不明肝炎(再掲:合計)	295	1	277	1	331	3	246		203	1	208			
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1,660	27	2,289	45	2,333	35	1,956	35	2,066	29	2,010	21		
	急性弛緩性麻痺			141		78		34		25	2	41			
	急性脳炎	702	5	679	7	959	11	491	2	338	1	398	1		
	クリプトスポリジウム症	19		25		19		6		5		7			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	200	3	221	2	193	4	157	3	179		171	7		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	587	10	694	16	894	10	718	9	622	6	744	21		
	後天性免疫不全症候群	1,395	7	1,301	6	1,231	7	1,094	1	1,053	5	892	8		
	ジアルジア症	60	1	68		53	2	28		32		32			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	372	3	488	4	543	4	253	5	194	1	210	3		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	25		37	1	48	1	14		1		8			
	侵襲性肺炎球菌感染症	3,205	40	3,328	28	3,344	23	1,655	17	1,405	18	1,345	20		
	水痘(入院例)	312	5	466	5	492	9	362	8	301	5	328	7		
	先天性風しん症候群					4		1		1					
	梅毒	5,826	29	7,007	53	6,642	71	5,867	41	7,978	55	13,226	79		
	播種性クリプトコックス症	137	2	182	2	156	3	152	3	163	1	158	1		
	破傷風	125	2	134	1	126	2	104	2	93	1	96	2		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	83		80	7	80	4	136	9	124	3	132	9		
	百日咳			12,115	56	16,845	37	2,819	7	707	1	500			
	風しん	91	2	2,941	10	2,298	15	101	1	12		15			
	麻しん	186	1	279		744	9	10		6	1	6			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	28		24		24		10		6		13				
髄膜炎菌性髄膜炎															
新型インフルエンザ等	新型コロナウイルス感染症														

ゼロ値は表示していない



結核

(別添1)

図-1 過去からの週別届出数の推移

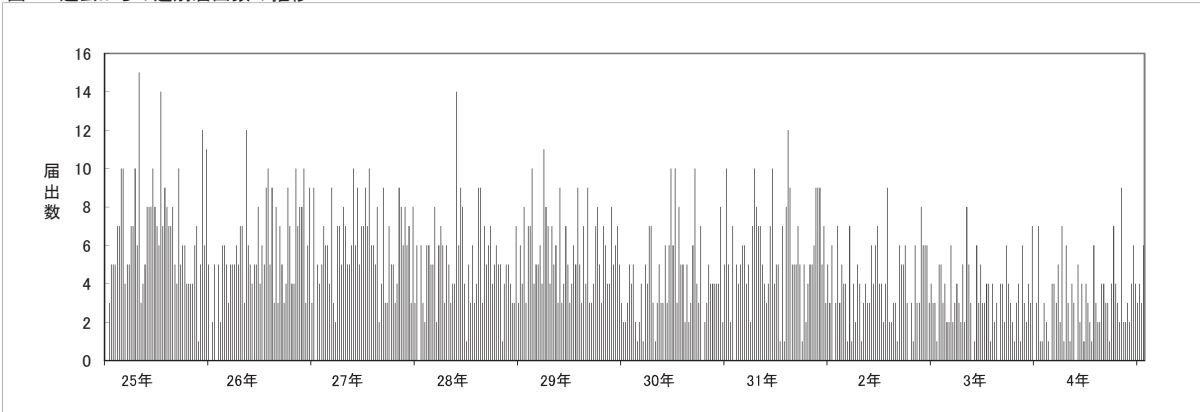


図-2 過去からの届出数の推移

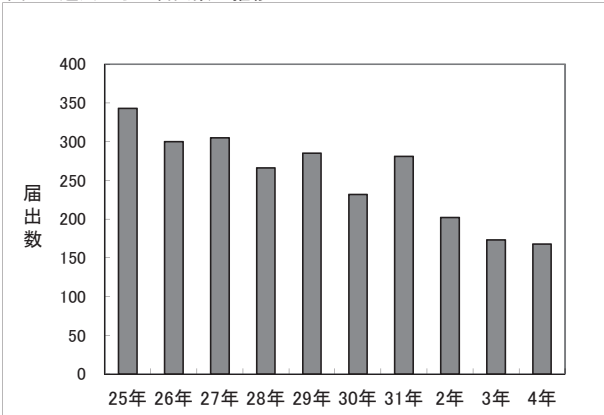


図-5 週別届出数

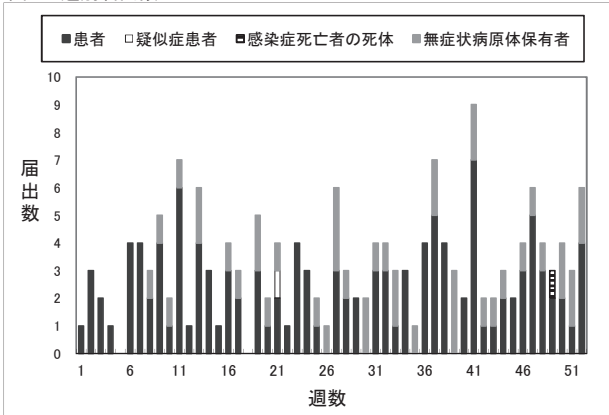


図-3 年齢別届出数

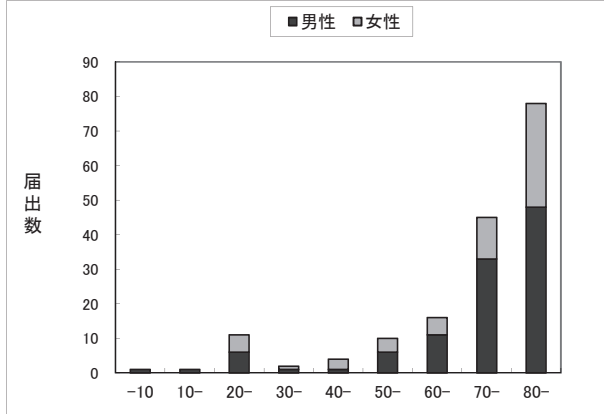


図-6 病型別

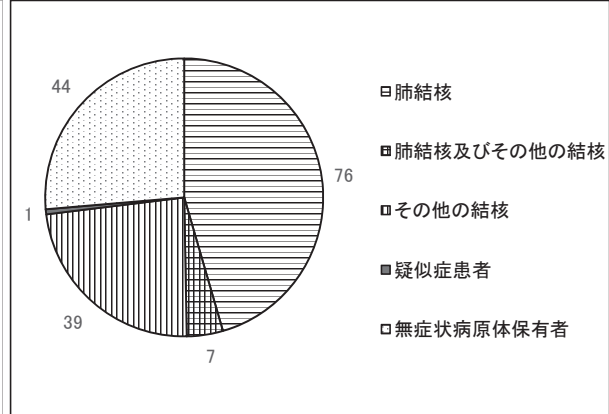
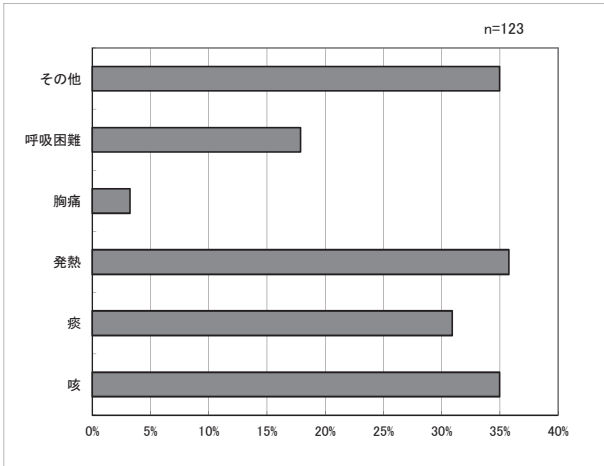


図-4 症状(重複有り)



その他

感染地域(推定含む)  
 県内:66例  
 国内(県外・不詳):97例(国内不明含む)  
 海外:4例

# レジオネラ症

(別添2)

図-1 過去からの週別届出数の推移

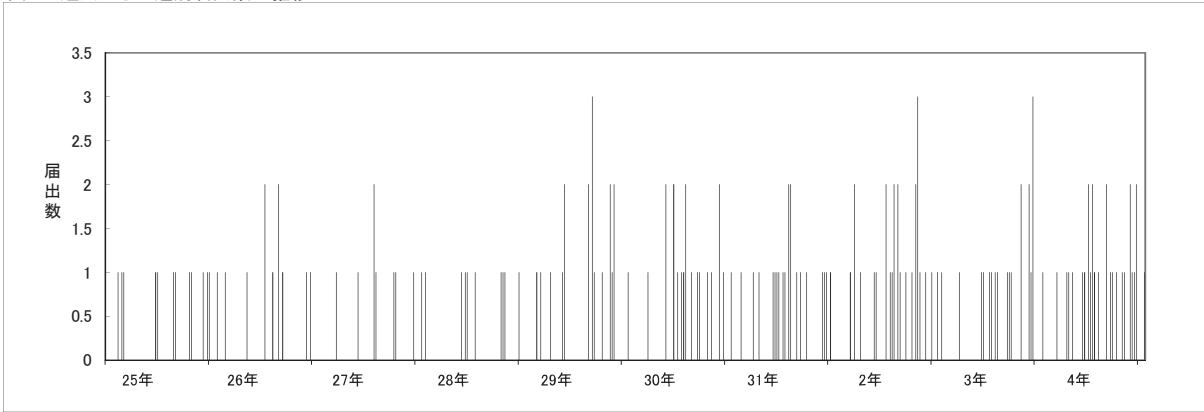


図-2 過去からの届出数の推移

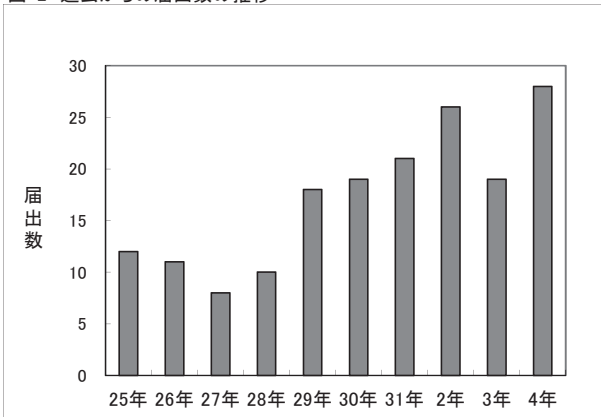


図-5 週別届出数

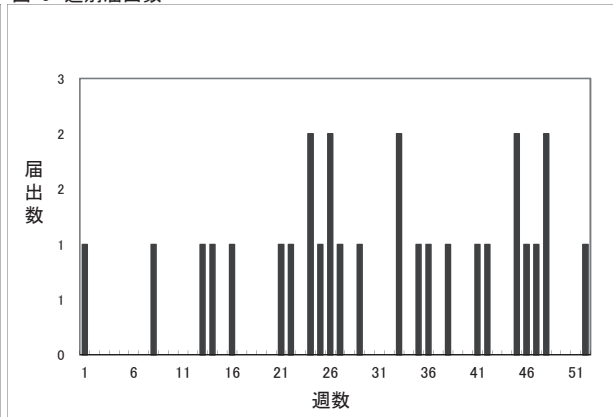


図-3 年齢別届出数

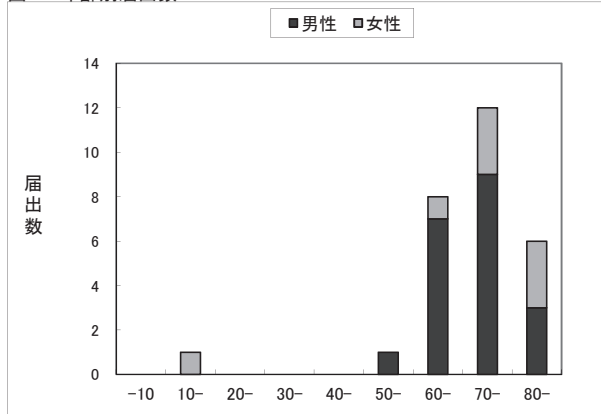


図-6 病型別

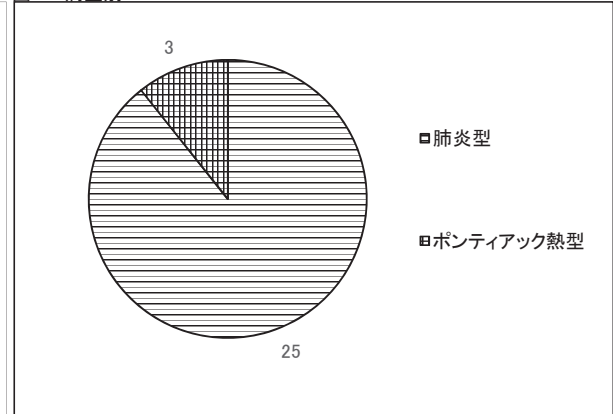
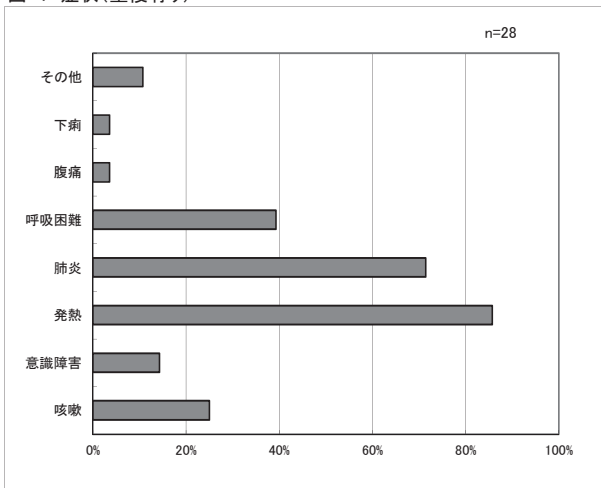


図-4 症状(重複有り)



その他

感染地域(推定含む)  
 県内: 20例  
 国内(県外・不詳): 8例  
 海外: 0例

推定感染経路  
 水系感染: 10例  
 塵埃感染: 1例  
 不明: 17例



梅毒

(別添3)

図-1 過去からの週別届出数の推移

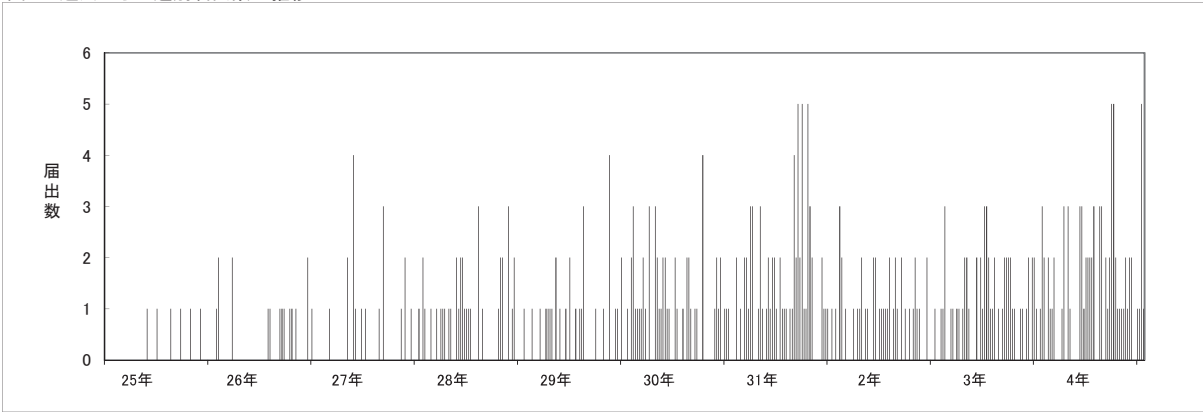


図-2 過去からの届出数の推移

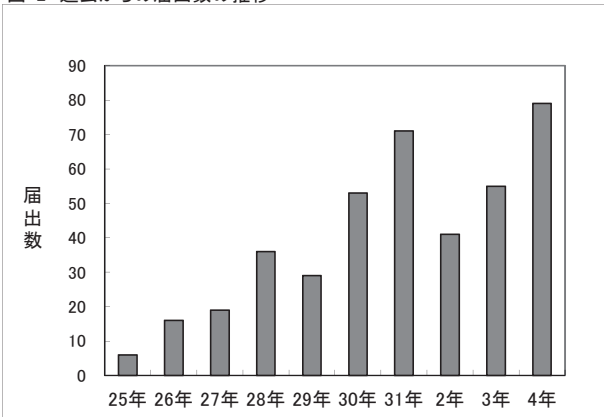


図-5 週別届出数

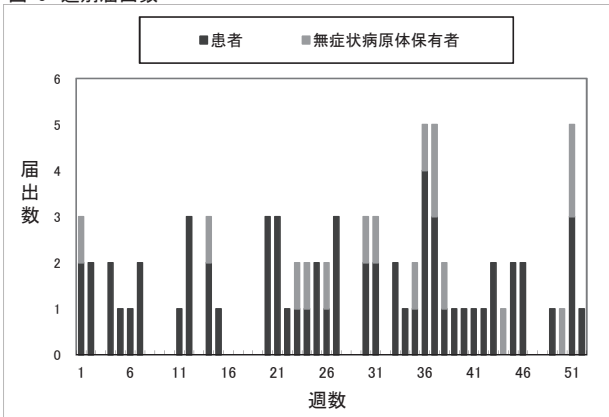


図-3 年齢別届出数

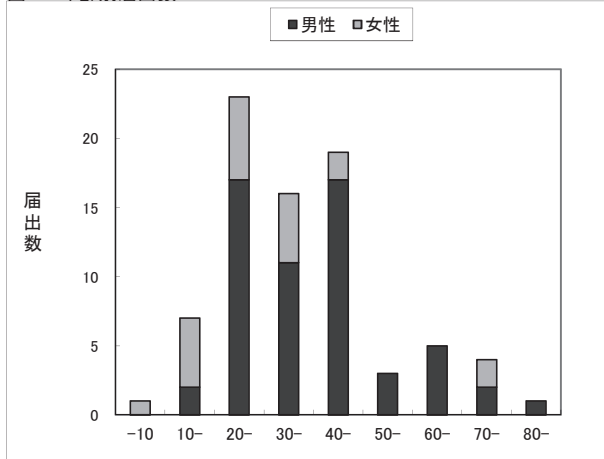


図-6 年齢群別の届出数の推移

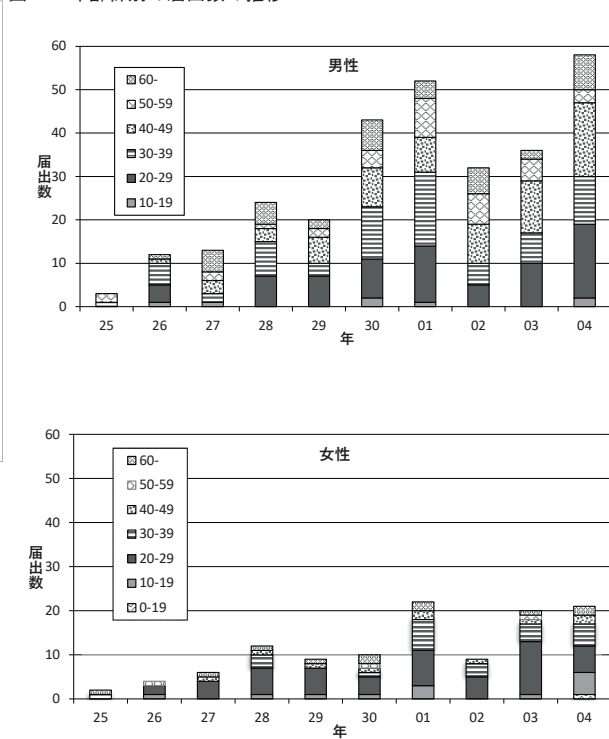
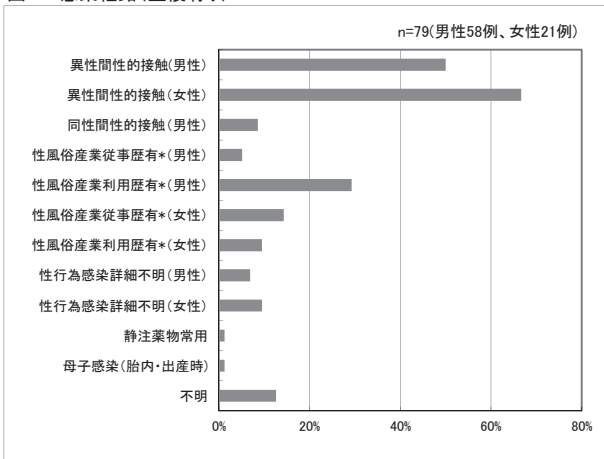


図-4 感染経路(重複有り)



その他

感染地域(推定含む)  
 県内:29例  
 県外:24例(都道府県不明を含む)  
 不明:26例